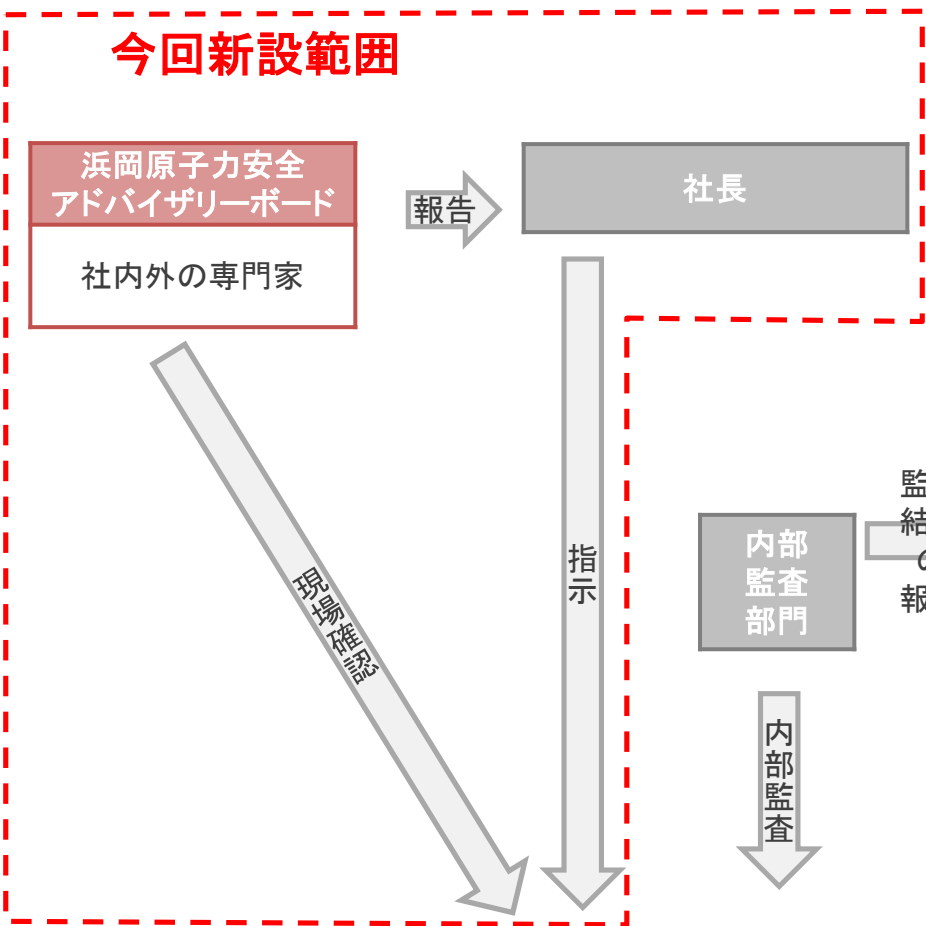


原子力の安全性向上に向けた取り組み体制



中部電力グループ 原子力安全憲章

原子力安全向上会議

議長: 社長
構成員: 副社長、グループ経営戦略本部長、原子力本部長、他部門管掌役員

【目的】
○リスクを分析、評価するとともに原子力安全向上に必要な対応策を審議

【議題】

| | |
|---------------------|--------------------|
| ○リスクにつながる情報の入手、活用状況 | ○リスク低減活動の実施状況 |
| ○「安全性向上評価」の結果 | ○防災対策の実施状況 |
| ○安全文化醸成活動の状況 | ○原子力内部監査の結果 |
| ○コミュニケーションの推進状況 | ○前記各項目を踏まえ必要となる対応策 |
| ○その他関連する重要事項 | |

原子力安全向上会議
アドバイザーボード

社外の有識者

情報

意見

全社リスクマネジメント

取締役会

重要なリスク報告

グループ経営戦略本部

リスクコミュニケーション

各部門

連携

原子力部門

- 原子力部長を委員長とする審議会においてリスク低減の取り組み状況を俯瞰的に確認・評価
- 発電所運営にPRAを活用
- 設備設計にPRAを活用
- 安全文化醸成活動の充実 等

コミュニケーション推進グループ

社内外のコミュニケーションへの取り組み

- リスクの観点を踏まえたコミュニケーションの実施
- 地域をはじめ社会の皆さまとの接点の場を拡充
- 訓練における地元自治体との連携 等

各種コミュニケーション窓口

・現在の対応
・課題
・リスク

情報

意見

地域をはじめ社会の皆さま

原子力リスク研究センター

JANSI、WANO※ 他

協調

※JANSI: 原子力安全推進協会
WANO: 世界原子力発電事業者協会

リスク情報、対応策等

社会の皆さまのご意見等

協働推進